

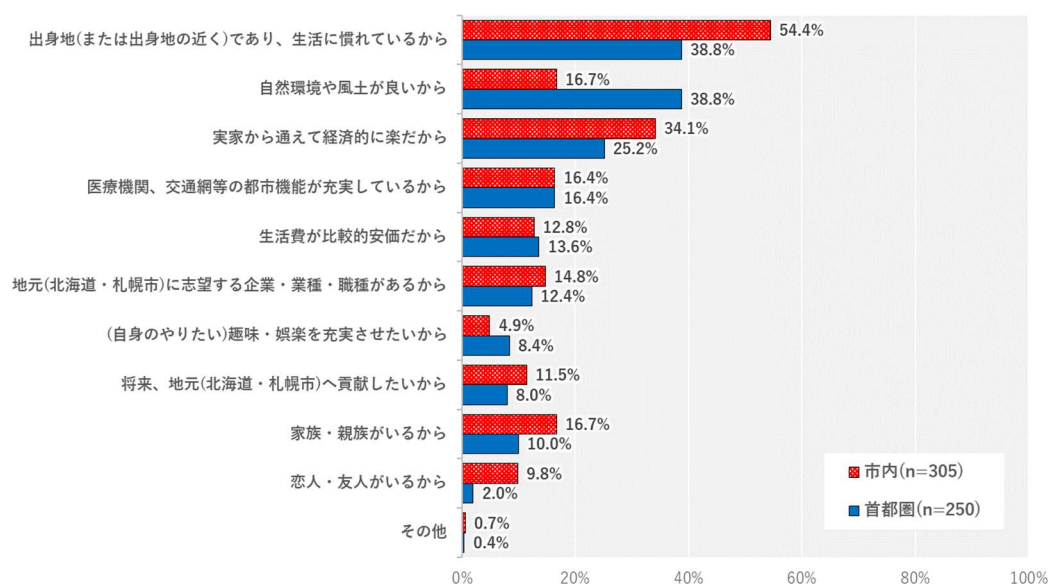
(9) 道内での就職を希望する理由またはUJターンを検討(希望)する理由

○市内大学生に対して、就職する勤務先の希望として「札幌市」または「道内（札幌市を除く）」を選択した対象者に、首都圏若年層に対してはUJターンを検討・希望すると回答した対象者に対して、道内での就職を希望する理由について尋ねた。

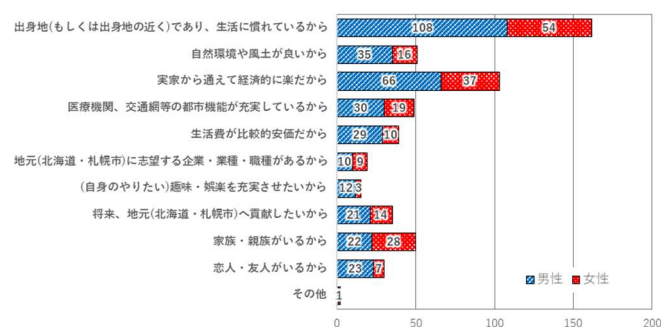
市内大学生で最も多かった回答は「出身地(または出身地の近く)であり、生活に慣れているから」(54.4%)となり、首都圏若年層も同様に最も多い回答となった(38.8%)。次いで多い回答としては「実家から通えて経済的に楽だから」(34.1%)であり、こちらは首都圏若年層では25.2%という結果となった。

首都圏若年層では、「自然環境や風土が良いから」が同率で最も多い回答となった。(38.8%)

道内での就職を希望する理由<SA>



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



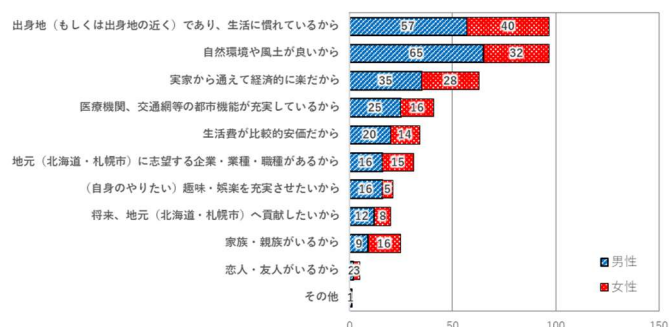
市内大学生[男性]

- 1位 出身地(もしくは出身地の近く)であり、生活に慣れているから
- 2位 実家から通えて経済的に楽だから
- 3位 自然環境や風土が良いから

市内大学生[女性]

- 1位 出身地(もしくは出身地の近く)であり、生活に慣れているから
- 2位 実家から通えて経済的に楽だから
- 3位 家族・親族がいるから

◆首都圏若年層アンケート調査<性別クロス>



首都圏若年層[男性]

- 1位 自然環境や風土が良いから
- 2位 出身地(もしくは出身地の近く)であり、生活に慣れているから
- 3位 実家から通えて経済的に楽だから

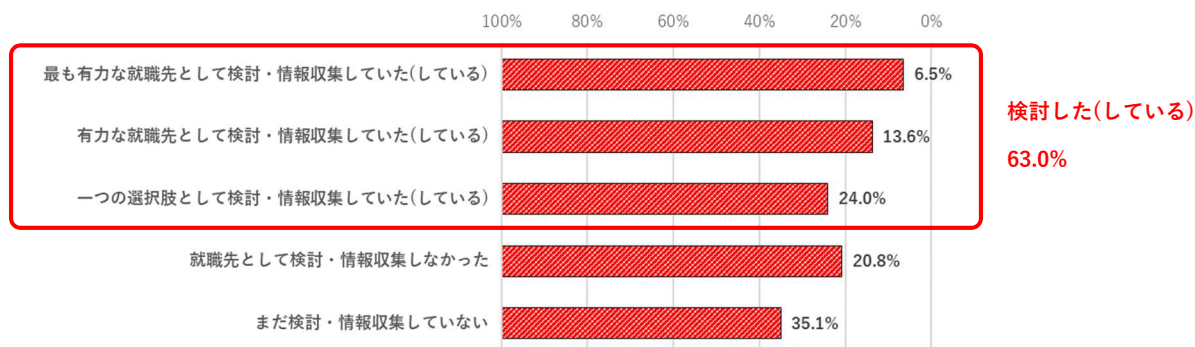
首都圏若年層[女性]

- 1位 出身地(もしくは出身地の近く)であり、生活に慣れているから
- 2位 自然環境や風土が良いから
- 3位 実家から通えて経済的に楽だから

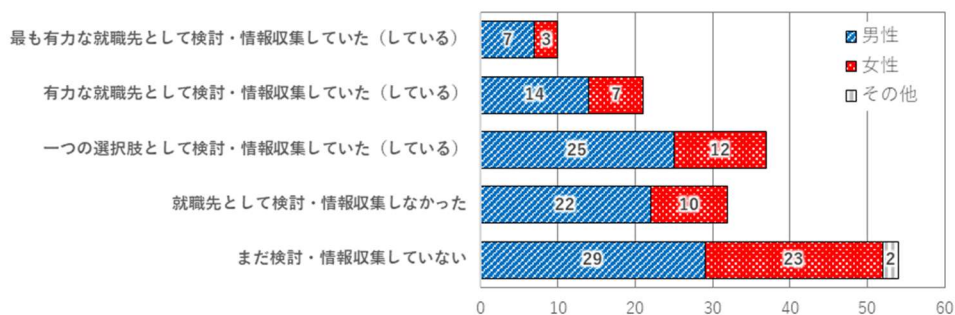
(10) 道内企業への就職検討について

○市内大学生に対して、就職する勤務先の希望として「札幌市」または「道内（札幌市を除く）」を選択しなかった対象者に、就職活動中の選択肢として道内企業を検討したり情報収集したりしなかったか尋ねた。全体の 63.0%は検討した（またはしている）という結果となった。

選択肢の一つとして道内企業を就職先として検討したり、情報収集したりしていましたか<SA> (N=108)



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



市内大学生[男性]

- 1位 まだ検討・情報収集していない
- 2位 一つの選択肢として検討・情報収集している(していた)
- 3位 就職先として検討・情報収集しなかった

市内大学生[女性]

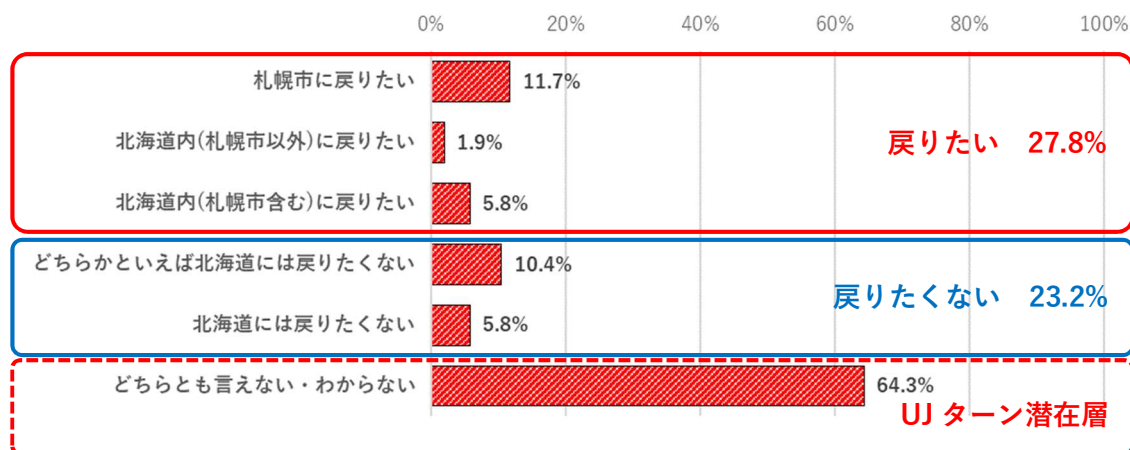
- 1位 まだ検討・情報収集していない
- 2位 一つの選択肢として検討・情報収集している(していた)
- 3位 就職先として検討・情報収集しなかった

(11) 将来、地元に戻る意思について

○市内大学生に対して、就職する勤務先の希望として「札幌市」または「道内（札幌市を除く）」を選択しなかった対象者に、将来北海道へ戻ってくることを希望するかについて尋ねた。

「戻りたい」が27.8%、「戻りたくない」が23.2%、「わからない」が64.3%という結果となった。

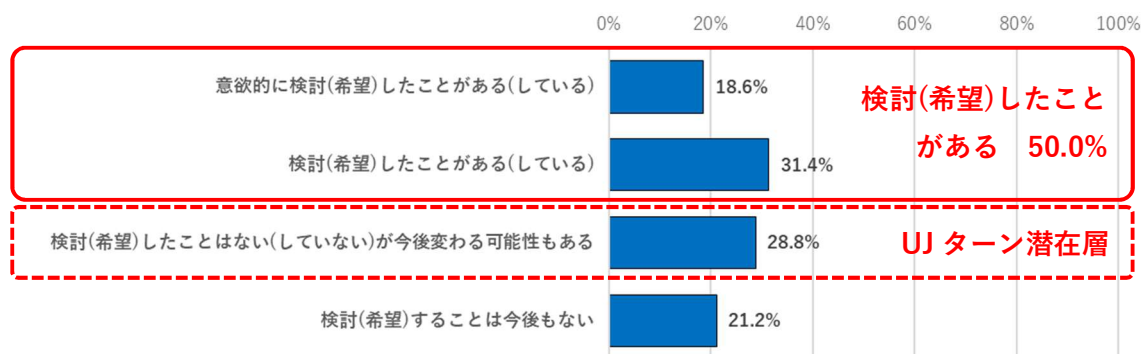
将来、地元(北海道・札幌)へ戻ってくることを希望しますか<SA> (N=108)



○首都圏若年層に対して、将来北海道へ戻ってくることを希望するかについて尋ねた。

全体の50.0%は検討（希望）したことがあるという結果となった。

北海道へのUターン・Jターンを検討(希望)したことがありますか<SA> (N=500)

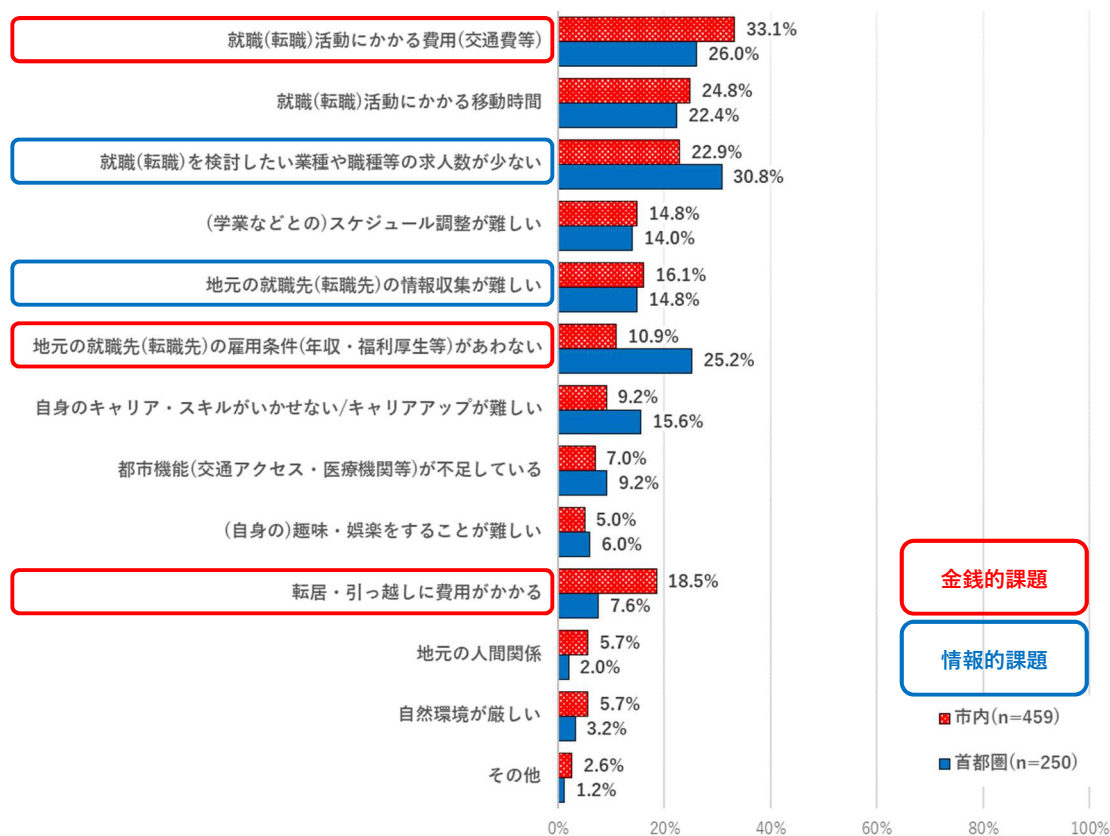


(12) U(I)Jターンにおいて障害だと感じるもの

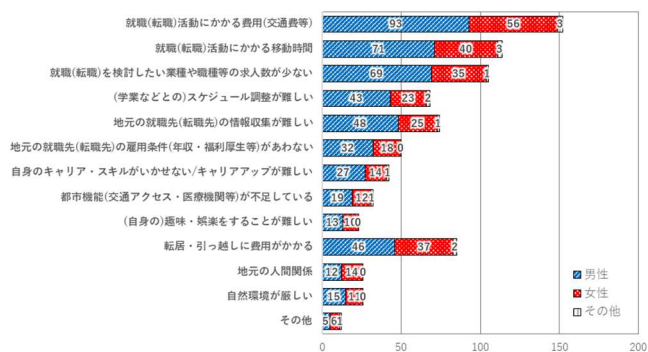
○市内大学生と首都圏若年層に対して、U(I)Jターンの障害だと感じるものについて尋ねた。

市内大学生で最も多かった回答は「就職(転職)活動にかかる費用(交通費)」が33.1%、首都圏若年層で最も多かった回答は「就職(転職)を検討したい業種や職種等の求人数が少ない」で30.8%という結果となった。また、金銭的課題と情報的課題はいずれも同程度の高さであることがわかる。

UJターンにおいて障害だと感じるもの<MA>



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



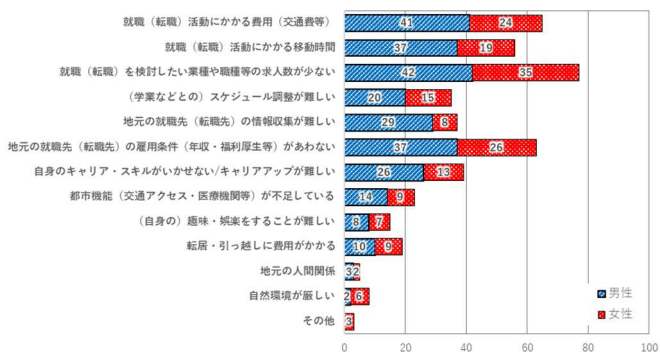
市内大学生[男性]

- 1 位 就職(転職)活動にかかる費用(交通費等)
- 2 位 就職(転職)活動にかかる移動時間
- 3 位 就職(転職)を検討したい業種や職種等の求人数が少ない

市内大学生[女性]

- 1 位 就職(転職)活動にかかる費用(交通費等)
- 2 位 就職(転職)活動にかかる移動時間
- 3 位 転居・引っ越しに費用がかかる

◆首都圏若年層アンケート調査<性別クロス>



首都圏若年層[男性]

- 1 位 就職(転職)を検討したい業種や職種等の求人数が少ない
- 2 位 就職(転職)活動にかかる費用(交通費等)
- 3 位 地元の就職先(転職先)の雇用条件(年収・福利厚生等)があわない

首都圏若年層[女性]

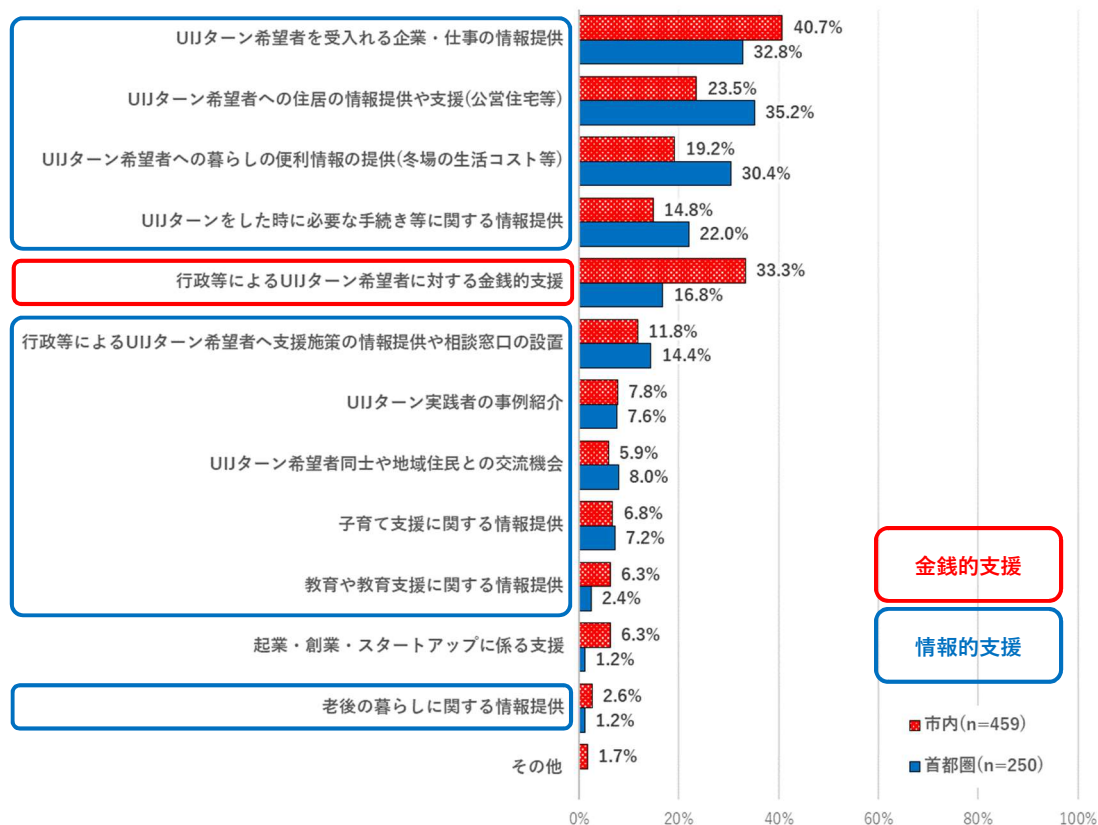
- 1 位 就職(転職)を検討したい業種や職種等の求人数が少ない
- 2 位 地元の就職先(転職先)の雇用条件(年収・福利厚生等)があわない
- 3 位 就職(転職)活動にかかる費用(交通費等)

(13) U(I)J ターンの支援策として必要と感じるもの

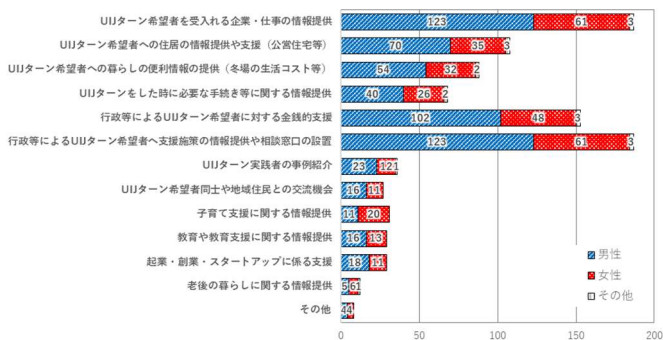
○市内大学生と首都圏若年層に対して、U(I)J ターンの支援策として必要だと感じるものについて尋ねた。

市内大学生で最も多かった回答は「UIJ ターン希望者を受入れる企業・仕事の情報提供」が 40.7%、首都圏若年層で最も多かった回答は「UIJ ターン希望者への住居の情報提供や支援(公営住宅等)」で 35.2% という結果となった。

札幌市・北海道に戻る(UIJ ターンする)ための支援策として、もっとも必要またはもっと充実させるべきだと考えるもの<MA>



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



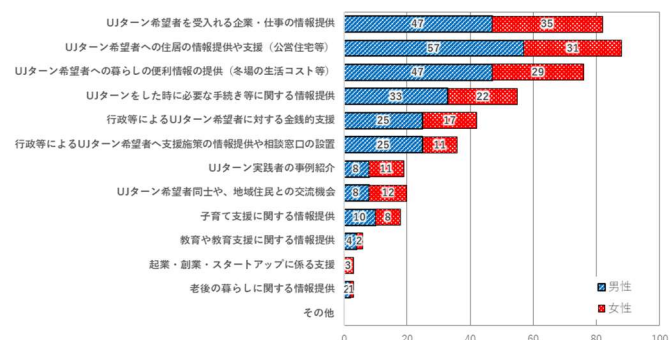
市内大学生[男性]

- 1 位 UIJ ターン希望者を受入れる企業・仕事の情報提供
- 2 位 行政等による UIJ ターン希望者に対する金銭的支援
- 3 位 UIJ ターン希望者への住居の情報提供や支援(公営住宅等)

市内大学生[女性]

- 1 位 UIJ ターン希望者を受入れる企業・仕事の情報提供
- 2 位 行政等による UIJ ターン希望者に対する金銭的支援
- 3 位 UIJ ターン希望者への住居の情報提供や支援(公営住宅等)

◆首都圏若年層アンケート調査<性別クロス>



首都圏若年層[男性]

- 1 位 UIJ ターン希望者への住居の情報提供や支援(公営住宅等)
- 2 位 UIJ ターン希望者を受入れる企業・仕事の情報提供
- 2 位 UIJ ターン希望者への暮らしの便利情報の提供(冬場の生活コスト)

首都圏若年層[女性]

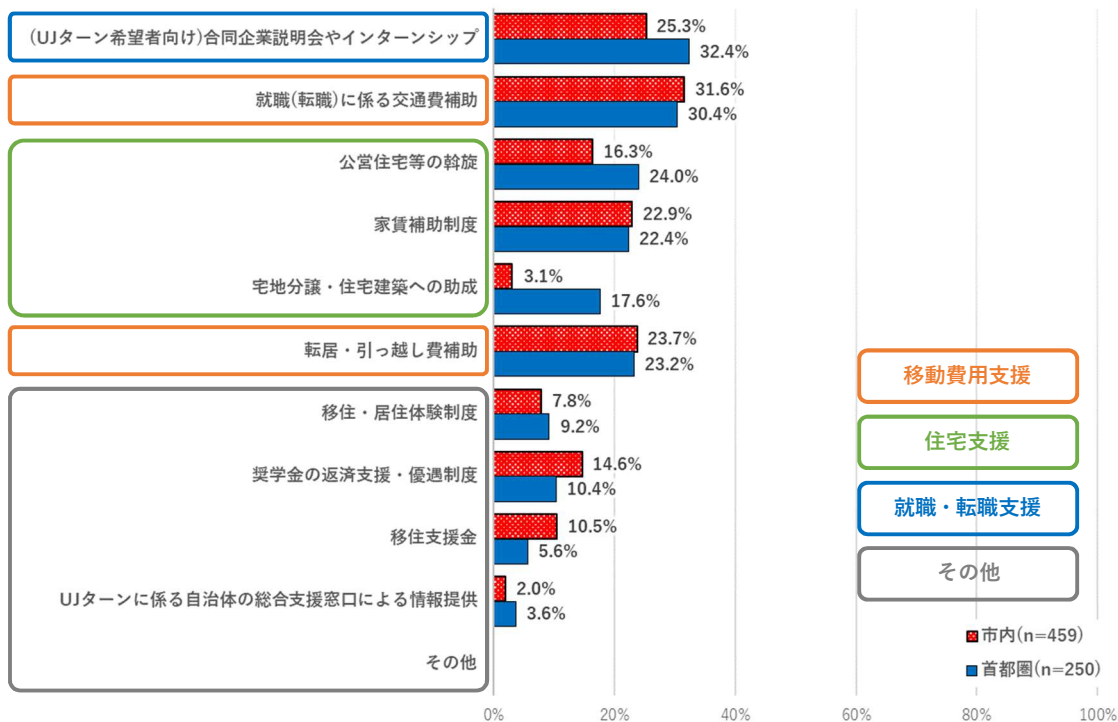
- 1 位 UIJ ターン希望者を受入れる企業・仕事の情報提供
- 2 位 UIJ ターン希望者への住居の情報提供や支援(公営住宅等)
- 3 位 UIJ ターン希望者への暮らしの便利情報の提供(冬場の生活コスト)

(14) U(I)Jターンの支援策としてあったら良いと感じるもの

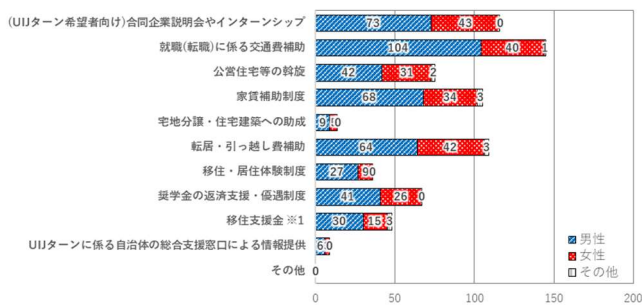
○市内大学生と首都圏若年層に対して、U(I)Jターンの支援策としてあったら良いと思う取り組みについて尋ねた。

市内大学生で最も多かった回答は「就職(転職)に係る交通費補助」が31.6%、首都圏若年層で最も多かった回答は「(UJターン希望者向け)合同企業説明会やインターンシップ」で32.4%という結果となった。

札幌市・北海道に戻る(UIJターンのための支援策として、あったら良いと思う取り組み<MA>



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



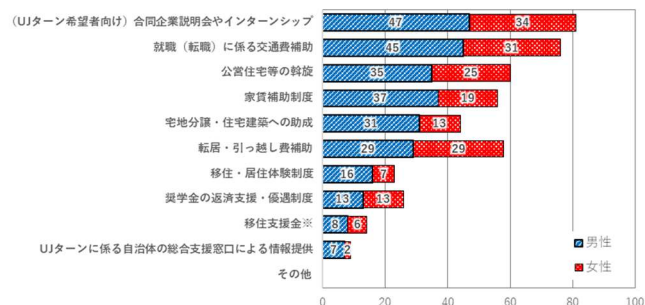
市内大学生[男性]

- 1 位 就職(転職)に係る交通費補助
- 2 位 (UJターン希望者向け)合同企業説明会やインターンシップ
- 3 位 家賃補助制度

市内大学生[女性]

- 1 位 (UJターン希望者向け)合同企業説明会やインターンシップ
- 2 位 転居・引っ越し費補助
- 3 位 就職(転職)に係る交通費補助

◆首都圏若年層アンケート調査<性別クロス>



首都圏若年層[男性]

- 1 位 (UJターン希望者向け)合同企業説明会やインターンシップ
- 2 位 就職(転職)に係る交通費補助
- 3 位 家賃補助制度

首都圏若年層[女性]

- 1 位 (UJターン希望者向け)合同企業説明会やインターンシップ
- 2 位 就職(転職)に係る交通費補助
- 3 位 転居・引っ越し費補助

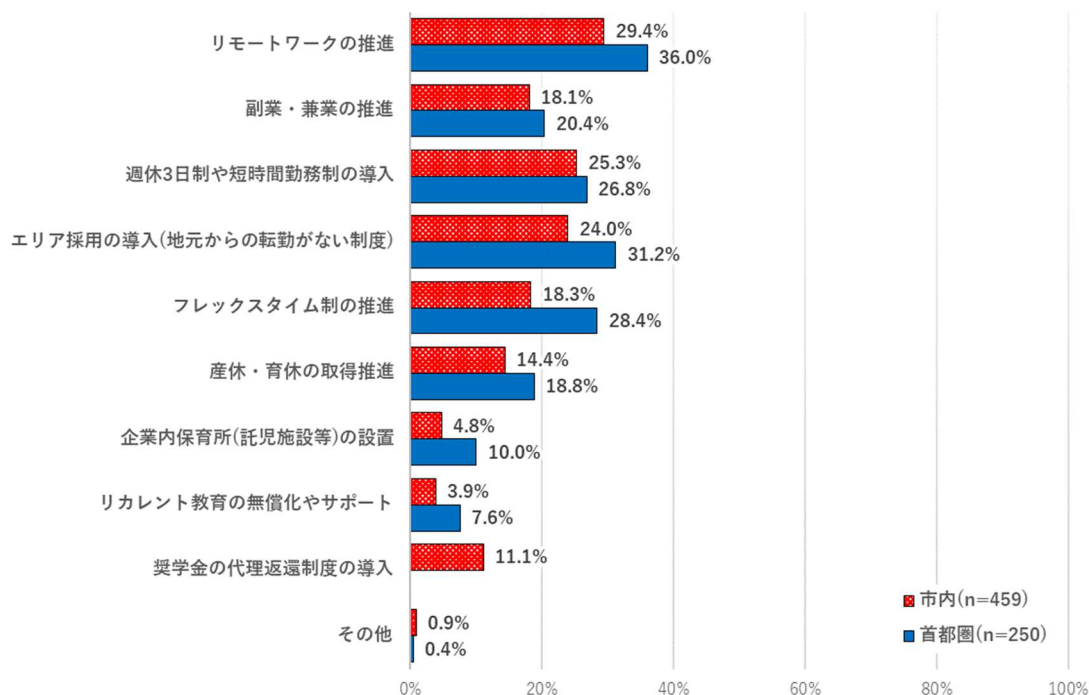
(15) U(I)Jターンを検討するために、企業・団体等に取り組んでほしいこと

○市内大学生と首都圏若年層に対して、U(I)Jターンを検討するために、企業・団体に取り組んでほしいことについて尋ねた。

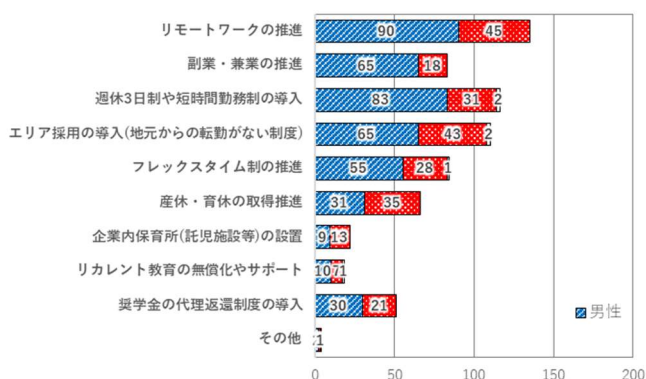
市内大学生、首都圏若年層ともに最も多かった回答は「リモートワークの推進」となり市内大学生では29.4%、首都圏若年層では36.0%という結果だった。

市内大学生の回答で次いで多かったのは「週休3日制や短時間勤務制の導入」で25.3%、首都圏若年層で次いで多かった回答は「エリア採用の導入(地元からの転勤がない制度)」で31.2%という結果となった。

札幌市・北海道に戻る(U/IJターンする)ことを検討するために、企業・団体等に取り組んでほしいこと<MA>



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



市内大学生[男性]

1位 リモートワークの推進

2位 週休3日制や短時間勤務制の導入

3位 副業・兼業の推進/エリア採用の導入(地元からの転勤がない制度)

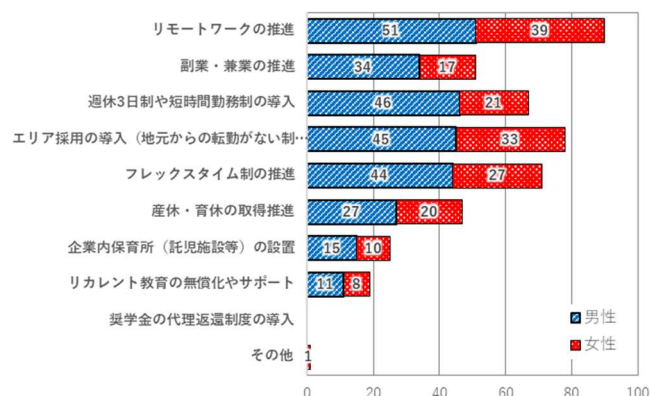
市内大学生[女性]

1位 リモートワークの推進

2位 エリア採用の導入(地元からの転勤がない制度)

3位 産休・育休の取得推進

◆首都圏若年層アンケート調査<性別クロス>



首都圏若年層[男性]

1位 リモートワークの推進

2位 週休3日制や短時間勤務制の導入

3位 エリア採用の導入(地元からの転勤がない制度)

首都圏若年層[女性]

1位 リモートワークの推進

2位 エリア採用の導入(地元からの転勤がない制度)

3位 フレックスタイム制の推進

(16) U(I)Jターンをする場合の情報入手先について

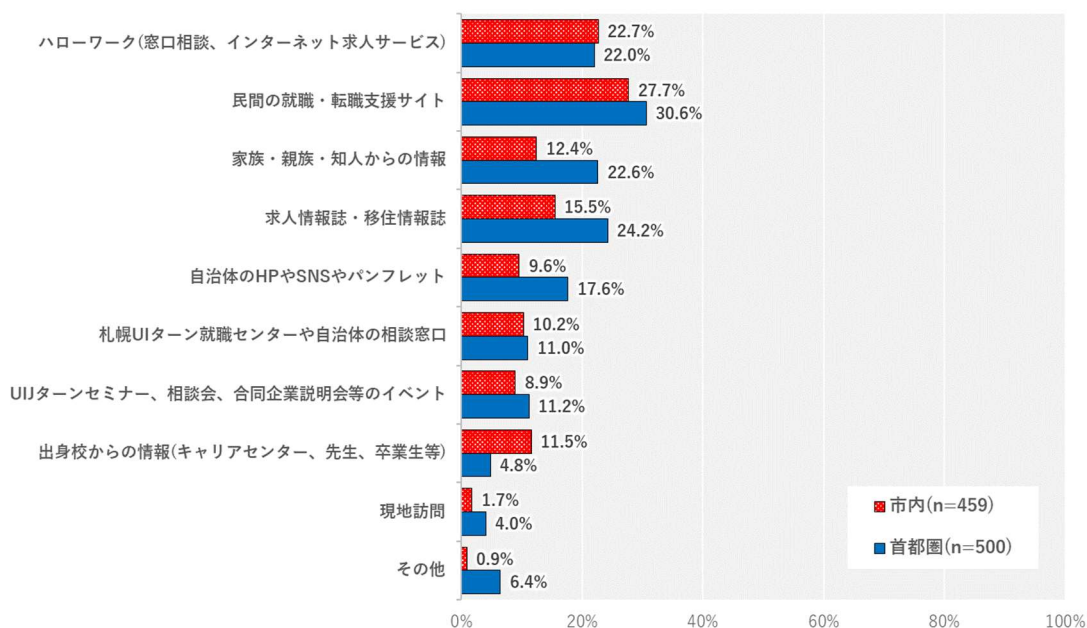
◆札幌市内大学生アンケート調査

○市内大学生と首都圏若年層に対して、U(I)Jターンに関する情報収集の方法について尋ねた。

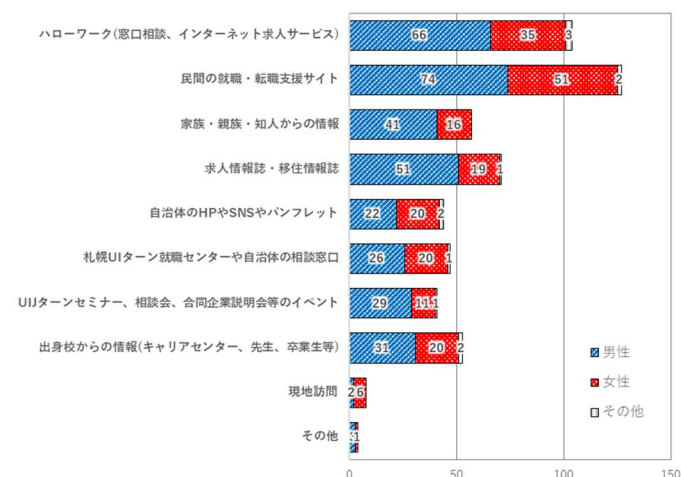
市内大学生、首都圏若年層ともに最も多かった回答は「民間の就職・転職支援サイト」となり市内大学生では27.7%、首都圏若年層では30.6%という結果だった。

市内大学生の回答で次いで多かったのは「ハローワーク(窓口相談、インターネット求人サービス)」で22.7%、首都圏若年層で次いで多かった回答は「求人情報誌・移住情報誌」で24.2%という結果となった。

札幌市・北海道に戻る(U/IJターンする)場合、どこから情報を入手しますか<MA>



◆札幌市内大学生アンケート調査<性別クロス>



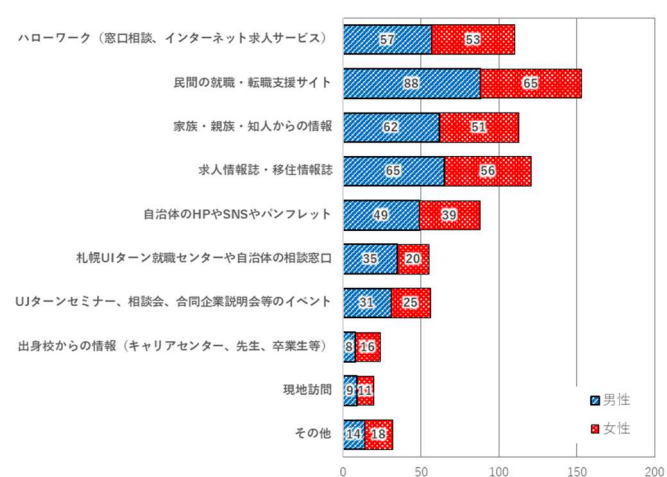
市内大学生[男性]

- 1位 民間の就職・転職支援サイト
- 2位 ハローワーク(窓口相談、インターネット求人サービス)
- 3位 求人情報誌・移住情報誌

市内大学生[女性]

- 1位 民間の就職・転職支援サイト
- 2位 ハローワーク(窓口相談、インターネット求人サービス)
- 3位 —

◆首都圏若年層アンケート調査<性別クロス>



首都圏若年層[男性]

- 1位 民間の就職・転職支援サイト
- 2位 求人情報誌・移住情報誌
- 3位 家族・親族・知人からの情報

首都圏若年層[女性]

- 1位 民間の就職・転職支援サイト
- 2位 求人情報誌・移住情報誌
- 3位 ハローワーク(窓口相談、インターネット求人サービス)